

令和7年1月14日

中国・四国初！農福連携による新ビジネスモデルの構築を支援 広島県と三原市を含む3市が農福コンソーシアムひろしまと協定締結

農業を通じた、障がい者等の社会参画の支援や持続的な農福連携事業の確立による地域共生社会の実現に取り組む「農福コンソーシアムひろしま」と、広島県、竹原市、三原市及び東広島市は「農福連携による地域共生社会実現に関する協定」を締結いたします。

「農福コンソーシアムひろしま」は、社会福祉法人宗越福祉会、(株)八天堂ファーム、アソシエイト・ファーム(株)の3者が幹事となり、農福連携を通じ地域の課題解決するために設立されたコンソーシアムであり、農福連携を目的に、自治体が参加し、複数市町にまたがる広域での協定の締結は、中国・四国地方では初となります。

【農福コンソーシアムひろしまとの協定のポイント（特徴）】

- 中国・四国初の自治体が参加する複数市町にまたがる農福連携協定
- 農福連携を通じ、障害者就労や農業の担い手不足などの地域課題を解決

1 協定締結式

日時：令和7年1月16日（木）9:30～9:50

場所：広島県庁 北館2階 第1会議室

出席者：広島県知事 湯崎 英彦（ゆざき ひでひこ）

三原市長 岡田 吉弘（おかだ よしひろ）

東広島市長 高垣 廣徳（たかがき ひろのり）

竹原市長 今榮 敏彦（いまえ としひこ）

農福コンソーシアムひろしま 代表 伊藤 大悟（いとう だいご）



県プレスリリースQR

だいご

2 主な連携内容

- (1) 障がいのある人はもちろん、ひきこもり状態にある人をはじめ、地域で生きづらさを抱える人が生き生きと働ける環境づくり
- (2) 個人や法人等すべての者が農福連携に主体的に参画するインクルーシブなコミュニティづくり
- (3) 農業を起点に、地域内外で調達から生産、加工、流通、消費が循環する持続可能な地域循環型 経済圏の仕組みづくり

3 取材申し込み

1月15日（水）12時までに、メールまたはFAXで広島県に申し込みしてください。

※詳細は広島県のプレスリリースを参照してください。

【問い合わせ先】 障害者福祉課 課長 由水 尚哉（よしみず なおや）
障害者福祉係長 坂本 泰啓（さかもと やすひろ）

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号 電話 0848・67・6060(直通) FAX0848・64・2130